

事業報告書

〔自 平成 23(2011)年 4 月 1 日 至 平成 24(2012)年 3 月 31 日〕

I. 事業概要

平成 23(2011)年度の事業においては、「ビジョン 2010 —よりよい未来を構築するために」の趣旨に基づき、前年度の活動実績も踏まえつつ、現代社会の諸課題に対して正面から向き合い、助成財団としての役割を果たすべく、以下の事業を実施した。

特に本年度は、平成 23(2011)年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」への対応として、被災者の生活再建および地域コミュニティの再生に向けた持続的な取り組みにつき、これを中・長期の視点にたって支援していくための助成プログラムの開発と実施に取り組んだ。

<重点留意事項>

- (1)変化の激しい現代社会を見据え、現在、及び過去の助成対象者等との連携を強化し、よりよい未来を構築するための活動を推進する。
- (2)各プログラムの効果を分析・活用し、助成内容をより一層充実する。
- (3)「東日本大震災」への対応を助成財団の役割に照らして検討し、実施する。
- (4)公益財団法人として相応しい日常業務の遂行に努める。

<平成 23(2011)年度助成実績>

助成プログラム		応募件数	助成件数	予算(千円)	助成金(千円)
公 募	①地域社会プログラム				
	本体	364	15	60,000	51,600
	特定課題(「東日本大震災」対応)	236	28	60,000	59,050
	②アジア隣人プログラム	245	22	120,000	71,150
	③研究助成プログラム	862	47	150,000	141,300
非 公 募	④社会コミュニケーションプログラム	—	1	20,000	1,289
	⑤イニシアティブプログラム				
	「東日本大震災」対応	—	5	100,000	51,460
	SEASREP など	1	1	23,000	10,000
計		—	119	533,000	385,849

II. 助成内容

1. 地域社会プログラム

本プログラムについては、当初、前年度に準じた内容として実施する予定であったが、「東日本大震災」への対応に関わりプログラム全体の見直しを図った。

その結果、「継(つ)ぐ、つくる、つながるー共に拓く地域の未来」を新たなテーマに、以下2つの枠組みを設定し、実施した。

[本体] 地域の特性を踏まえつつ、人びとの主体性とつながりを育み、地域の課題の解決に取り組むプロジェクトに対する助成

[特定課題] 東日本大震災の被災地・被災者を対象に、人びとの暮らしの再建や、地域社会の再生・構築をめざす活動に対する助成

(1)テーマ： 「継(つ)ぐ、つくる、つながるー共に拓く地域の未来」

(2)公募期間： [本体] 2011年10月7日～11月7日

[特定課題] 2011年10月7日～11月30日

(3)助成実績

上段：2011年度
(下段：2010年度)

	応募件数	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)	採択率
[本 体]	364 (709)	15 (37)	60,000 (120,000)	51,600 (119,980)	4.1% (5.2%)
[特定課題]	236 (-)	28 (-)	60,000 (-)	59,050 (-)	11.9% (-)
合 計	600 (709)	43 (37)	120,000 (120,000)	110,650 (119,980)	7.2% (5.2%)

2. アジア隣人プログラム

本プログラムにおいては、2009年度以降、アジアにおける課題解決型の実践的なプロジェクトへの助成を行ってきたが、2010年度は結果として採択に至るまでの案件が少なかった。本年度は、この点を踏まえ、アジアにおける諸課題を整理した上で、以下の通りプログラム内容を見直した。また、2010年度まで実施してきた特定課題「アジアにおける伝統文書の保存、活用、継承」については一年間休止し、今後の助成のあり方を検討した。

(1)テーマ： 「ビジョン2010」を踏まえ、「よりよいアジアの未来を目指して」に変更

(2)助成領域： 従来の「環境に配慮した持続可能なコミュニティ形成」「各地域の抱える諸課題に対応する社会制度の構築及び再整備」の2つに加え、「相互理解の促進と人材育成」を新たに設定

(3)助成枠： 昨年度までの「小規模」と「一般」の2枠から、「一国枠」「二国以上枠」「特別枠」の3枠へと変更。

(4)公募期間： 2011年4月1日～5月16日

(5) 助成実績

上段：2011年度
 (下段：2010年度)

	応募件数	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)	採択率
[本体]	245 (354)	22 (19)	120,000 (120,000)	71,150 (62,010)	9.0% (5.4%)
[特定課題]	— (68)	— (12)	— (30,000)	— (30,000)	— (17.6%)
合計	245 (422)	22 (31)	120,000 (150,000)	71,150 (92,010)	9.0% (7.3%)

《2011年度の内訳》

	応募件数	助成件数	採択率
一国枠	123件	13件	10.6%
二国以上枠	109件	9件	8.3%
特別枠	13件	0件	0%
合計	245件	22件	9.0%

3. 研究助成プログラム

本プログラムについては、「ビジョン2010」を踏まえ、「よりよい未来を築く知の探究」を新たなテーマに、昨年度までの枠組みを以下の通り変更し、既存の枠組みにとらわれない、柔軟な発想に基づいた先駆的で、社会的意義の大きい研究プロジェクトに対する助成を実施した。なお、若手や在野の研究者の奨励を明確に位置づけた結果、「個人奨励助成」については、応募件数・採択数ともに昨年度より増加した。

＜カテゴリーA＞ 共同研究助成

1. 社会的課題の解決に資する実践的な研究
2. 新たな社会の実現に向けた価値創出型の研究

＜カテゴリーB＞ 個人奨励助成

(1) テーマ： 「よりよい未来を築く知の探究」

(2) 公募期間： 2011年4月1日～5月16日

(3) 助成実績

上段：2011年度
 (下段：2010年度)

応募件数	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)	採択率
862 (939)	47 (45)	150,000 (150,000)	141,300 (126,700)	5.5% (4.8%)

《2011年度の内訳》

	応募件数	助成件数	採択率
共同研究1	242件	12件	5.0%
共同研究2	121件	11件	9.0%
個人奨励	499件	24件	4.8%
合計	862件	47件	5.5%

4. 社会コミュニケーションプログラム

本プログラムでは、①これまでの助成プロジェクトの中から、さらに発展する可能性の高いものを発掘・支援、②成果公表のための出版に対する助成、を目的とした。

本年度は、成果公表のための出版に対する助成（1件・\$15,500）を行った。

なお、対象となる助成プロジェクトを増やすための情報収集を強化するなど、成果がインパクトのある形で社会に発信できるプロジェクトを発掘する体制の整備が課題となっている。

○助成実績

上段：2011年度

(下段：2010年度)

助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
1	20,000	1,289 <US&15,500>
(1)	(20,000)	(478 < US&5,750>)

5. イニシアティブプログラム

本プログラムでは、①3つの公募プログラムでは支援の難しい社会的に重要な課題に関する助成、②東南アジア研究地域交流プログラム(SEASREP)におけるアジア地域内の若手研究者育成を狙いとしたプログラムを支援する、ことを目的とした。

特に①について本年度は、「東日本大震災」への対応として、被災者の生活再建および地域コミュニティの再生に向けた持続的な取り組みを支援することに重点を置き、関係者・団体と協議のうえ、助成を実施した。

○助成実績

(単位：千円)

	題 目	助成対象者	助成金額
「東日本大震災」への対応			
①	東日本大震災・被災地の復興に向けた生活支援コーディネーターの養成と強化	(特活)日本ボランティアコーディネーター協会	9,790
②	被災地仮設住宅等における「遊び」・「学習」などを通して、生活に根差したなかでの子どもを軸にしたコミュニティ形成支援	(特活)ビーンズふくしま	17,770
③	三陸地域の山と海を守り育てる	(特活)吉里吉里国	8,650
④	子どものエンパワメント支援事業 ～夢の実現につながる居場所づくりと学習支援～ ※	一般社団法人子どものエンパワメントいわて	8,000
⑤	宮城県内の仮設住宅地における「子ども未来館」設置	(特活)「人間の安全保障」フォーラム	7,250
東南アジア研究地域交流プログラム(SEASREP)			
①	SEASREP 財団によるフェロシップ・フォーラム事業等への助成	SEASREP 財団	10,000
合 計			61,460

※パナソニック教育財団との共同助成

Ⅲ. その他の活動

1. 広報活動

WEBサイトを助成対象者、応募希望者がより使いやすく、情報共有可能なものへ全面改定した。
また広報誌（「JOINT」）については、前年度に準じて以下の通り発刊した。

	刊行日	特集テーマ	発行部数
第7号	2011年8月	復興へ向けて 私たちに何ができるか	5,000
第8号	2011年12月	特別対談:これからの日本と世界 そして、われわれの役割	”

IV. 会議実績

理事会

第6回理事会〔平成23年6月2日(木)〕

1. 平成22年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日)事業報告(案)及び決算(案)の承認の件
2. 選考委員選任の件
 - ・アジア隣人プログラム
3. 東日本大震災に関わる事業方針(案)及び変更予算(案)について
4. 第3回評議員会の日時・場所・目的である事項について
5. 理事候補(案)について
6. 評議員選定委員会 委員選任の件

報告事項

1. 平成23年度 アジア隣人プログラム・研究助成プログラム 応募状況について

第7回理事会〔平成23年6月27日(月)〕

1. 代表理事及び業務執行理事の選任について
2. 会長及び常務理事の選任について
3. 名誉会長の選任について
4. 平成23年度 役員報酬金額について

第8回理事会〔平成23年9月20日(火)〕

1. 平成23年度 アジア隣人プログラム助成対象の決定について
2. 平成23年度 研究助成プログラム助成対象の決定について
3. 平成23年度 イニシアティブプログラム助成対象の決定について
4. 平成23年度 社会コミュニケーションプログラム助成対象の決定について
5. 平成23年度 地域社会プログラムについて
6. 選考委員選任の件
 - ・地域社会プログラム
7. 平成23年度 会計監査人監査報酬について
8. 役員報酬(賞与)について

報告事項

1. その他

第9回理事会(書面)〔平成24年2月17日(金)〕

1. 第4回評議員会の日時・場所・目的である事項について
2. 平成23年度 イニシアティブプログラム助成対象の決定について

第10回理事会〔平成24年3月23日(金)〕

1. 平成23年度 地域社会プログラム助成対象の決定について
2. 平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)事業計画書(案)及び収支予算書等(案)について
3. 役員報酬金額について
4. 選考委員の選任について
 - ・国内助成プログラム、アジア隣人プログラム、研究助成プログラム

報告事項

1. 評議員選定委員会開催報告
2. 地域社会プログラム贈呈式について
3. その他

評 議 員 会

第3回評議員会〔平成23年6月27日(月)〕

1. 平成22年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日)事業報告(案)及び決算(案)の承認の件
2. 役員選任(交替)の件

報告事項

1. 東日本大震災に関わる事業方針及び変更予算について
2. 平成22年度 アジア隣人プログラム・研究助成プログラム 応募状況について

第4回評議員会〔平成24年3月23日(金)〕

1. 監事選任の件

報告事項

1. 平成24年度(平成24年4月1日～平成25年3月31日)事業計画書(案)及び収支予算書等(案)について
2. 評議員選定委員会開催報告
3. 地域社会プログラム助成金贈呈式について

評議員選定委員会

選定委員会

平成 24 年 3 月 1 日 (木)

地域社会プログラム選考委員会

選考準備会

平成 23 年 12 月 16 日 (金)

選考委員会

平成 24 年 1 月 31 日 (火)

アジア隣人プログラム選考委員会

選考準備会

平成 23 年 6 月 9 日 (木)

選考委員会

平成 23 年 7 月 21 日 (木)

研究助成プログラム選考委員会

選考準備会

平成 23 年 6 月 6 日 (月)

選考委員会

平成 23 年 7 月 26 日 (火)

助成金贈呈式

アジア隣人プログラム・研究助成プログラム 平成 23 年 10 月 19 日 (水) (於アムラックス東京)

V. 附属明細書

平成 23(2011)年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。